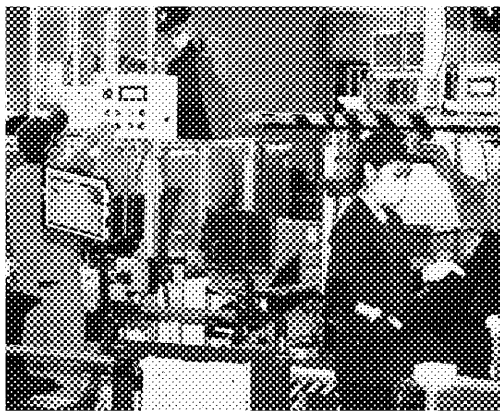


電子日報で製造現場支援

セレンディップHD



セレンディップは現場改善支援サービスを拡充（セレンディップ傘下の三井屋工業の本社工場）

作業見える化▼不良削減

【名古屋】セレンディップ・ホールディングス（HD）は、傘下の自動車部品メーカーが現場課題の解決に用いていた知見やノウハウを外販する。自動車部品製造で培った生産性向上の手法などをシステムにまとめ、コンサルティング業務とともに中堅・中小企業に提案する。まずは、現場で人の作業に関するデータを収集し、改善を見える化する電子日報「ハイコネックス」を提供する。製造現場に適したデジタル変革（DX）の実現で、業務の効率化を後押しする。

傘下車部品の知見外販

ハイコネックスは製一化するのが特徴。業務造現場の作業情報を収の効率化や不良の削減集し、データを見えるなどにつながる。価格

は初期費用が15万円から、1ライセンス当たり月額1万円（消費税抜き）に設定。年間1000ユーザーの獲得を目指す。自動車業界にとどまらず、他業界へも広く提案する。

具体的には生産指示カードの2次元（QR）コードをタブレット端末などで読み取り、その作業の開始と終了時にタブレットのボタンを押すことでデータを蓄積。収集した

情報を基に稼働状況の分析などを工程や品番、作業者別に提示し、最適な改善策を見つめられるようにする。

クラウドを活用したパッケージ製品のため最短1日で導入が可能。先行導入した企業では不良率を80%低減するなど、年間1億円程度のコスト削減を達成できたという。

ハイコネックスは当初、セレンディップHD子会社で自動車向けの樹脂製内外装部品を手がける三井屋工業（愛知県豊田市）向けに開発した。これを中堅・中小製造業向けの改善ツールとして再構築し外販する。

セレンディップHDは投資ファンドだが、複数の製造業を傘下にもつ。企業の課題を抽出しながら、経営管理基盤の強化や業務効率化を支援している。